

# カナディアンロッキー，レイクルーズの地質

<竹内圭史<sup>1)</sup>>

雲ひとつない快晴で，無風のためさざ波ひとつない湖面に山影がくっきりと映っている．このような好条件は年に数日しかなくたいへんラッキーとのこと．遠方山稜にビクトリア氷河の末端が見えている．

Lake Louise はじめ氷河湖は，水中にただよっている微細な碎屑粒子の効果で，トルコ石のような淡青緑色に見える．

写真1 は湖畔から南西方向を眺めたもので，湖の中部以西はカンブリア紀前期の Gog 層群の石英質砂岩層からなる (Price et al., 1980a, b)．湖の東半部（ホテルの建っている写真撮影地周辺）は原生代の Miette 層群で，Gog

層群はその上位に整合に重なる．すなわち Lake Louise では先カンブリア時代と古生代の境界部の地層が見られるわけである．これらの地層は緩く南西へ傾斜しており，遠方山稜の Gog 層群が水平に見えているのは見かけの傾斜である．

## 文 献

Price, R.A., Cook, D.G., Aitken, J.D. and Mountjoy, E.W. (1980a, b) Lake Louise (East Half) and (West Half). 1:50,000 Geological Survey of Canada. Geological Map 1482A and 1483A.



写真1 カナディアンロッキー，アルバータ州の観光地Lake Louise湖畔より氷河谷の奥（南西方向）を望む写真，2011年9月．

1) 産総研 地質情報研究部門

TAKEUCHI Keiji (2012): Geology of Lake Louise in Canadian Rocky.